



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

平成26年 9月 5日

福島河川国道事務所

国道115号『相馬福島道路(霊山～福島)』の 地質調査結果と今後の対応について

- 国土交通省福島河川国道事務所では、相馬福島道路（霊山～福島）の設計のため、霊山IC（仮称）から福島北JCT（仮称）まで、ボーリングによる地質調査を実施しています。
その結果、伊達市保原町^{ほばらまちはしらだ}柱田から同市保原町^{ほばらまちはしらだ}大柳^{ほばらまちはしらだ}の地形を大きく改変する予定の区間の調査が完了し、黄鉄鉱を含むことが確認されました。
- 黄鉄鉱は、酸素と水に接触することで酸性水を生じさせ、その影響で岩石中に含有している重金属類が溶出する場合があります。
- 国土交通省福島河川国道事務所では、今後、学識者から構成する委員会を設置し、当事業で発生する黄鉄鉱を含む岩石が周辺環境に及ぼす影響を調査し、適切な対応を検討してまいります。

発表記者会〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024(546)4331(代)

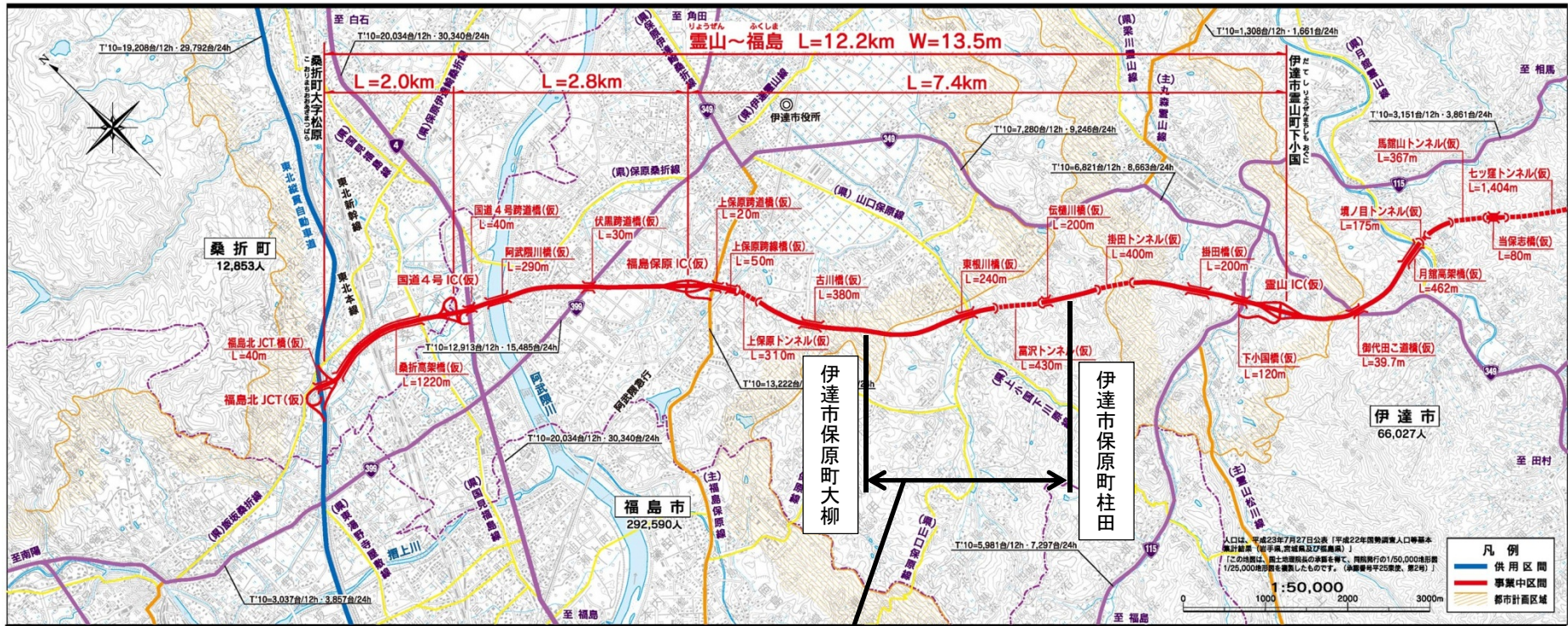
あかさか ひろし

副所長(道路) 赤坂 浩 (内線205)

いがらし しゅんいち

調査第二課長 五十嵐 俊一 (内線451)

【位置図】



黄鉄鉱が確認された範囲